

第 41 回国立 10 大学理学科長会議

表記の会議が 4 月 18, 19 の両日にわたり東北大学理学科で開かれた。東大理学科からは植村学科長、吉野事務長が出席した。議事は当番学部である東北大学鈴木理学科長を議長にすめられた。なお文部省からは大崎大学課長他一名が出席した。

大学課長から、先に大学設置審議会会長より文部大臣あて答申のあった“大学院および学位制度の改善について”の内容説明が詳しくなされ、この答申をうけて設置者としての文部省の大学院設置基準の設定、それにもとづく大学院拡充の方針等の準備情況の紹介があり、各学科長から活発な質疑や意見の交換がなされた。

主要議題は (イ) 経常的研究費の増額について、(ロ) 一般職員 (事務官、技官等) の増員と事務の簡素化、(ハ) 研究災害補償制度、(ニ) 野外調査実習費の特別要

求、(ホ) 教官人事交流促進のための予算措置の方策等であった。

これらの討議をふまえ、前年度「要望書」を参考に本年度「要望書」を当番学部である東北大学理学科が作成し、関係方面に提出することを申し合わせた。

(植村記)

4 月理学科会合日誌

3 日 (水)	15:00~17:00	アイソトープ委員会
8 日 (月)	14:00~16:30	理学系研究科委員会
9 日 (火)	13:30~17:30	会計委員会
15 日 (月)	12:30~13:40	学科長と理職との定例交渉
17 日 (水)	10:00~11:00	人事委員会
	13:00~16:00	教授会

教授会メモ

4月17日(水) 定例教授会
理学部四号館 1320号室

1. 前回議事承認
2. 人事異動等の報告
3. 転学部について
4. 研究生の期間延長および入学について
5. 昭和49年度受託研究員の申請について
6. 雑報告(部長)
総合大学院について、最近の学内事情など
7. 会計委員会報告(吉川)
昭和50年度の概算要求について説明あり、その提出順位などをめぐって、活発な議論がかわされて、この問題は最終的には、もう一度会計委員会および主任会議に託して決める。
8. 人事委員会報告(寺山)
四月から委員長交代し、木原教授が委員長となった。その他
9. 教務委員会報告(岩堀)
10. その他

新委員表

(敬称略) 49. 4. 17

評議員 植村, 下郡山, 田丸
幹事 下郡山, 田丸, 大木, 浅田, 和田(靖)

人事委員	木原, 寺山, 藤原, 伊藤, 末元
会計委員	吉川, 桑原, 藤田, 飯野, 佐佐木, 岸保
教務委員	岩堀, 霜田, 堀, 朽津, 佐伯, 花井
将来計画委員	黒田, 小松, 小柴, 海野, 大木, 江上, 古谷, 飯島, 後藤
学生委員(全学)	徳丸
学生委員(理)	浅田, 有馬, 尾本
学寮委員	松野
教職課程委員	竹内(均)
教養連絡委員	朽津
図書行政委員	藤原
広報委員(全学)	池上
広報委員(理)	小堀, 清水
外国人学生委員	斎藤(信)
学生相談所委員	藤井(隆)
学生保健委員	堀田
奨学委員	渡辺(直)
英文カレンダー委員	藤井(隆)
ガイダンス委員	朽津
臨カリ委員	霜田
山上会議所委員	黒田
公害防止委員	藤原
アルバイト委員	荒田
東大百年史委員	田丸
協議員	植村, 江上, 小柴
院, 学生委員(全学)	上田
院, 奨学委員	渡辺(直)

人事異動

(助手)

教室	官職	氏名	発令年月日	異動内容
物理	助手	永宮 正治	49. 4. 1	休職
物理		山崎 良成	49. 4. 1	助手に採用
数学	助手	井上 淳	49. 4. 1	広島大学助教授昇任
数学		谷島 賢二	49. 4. 1	助手に採用
人類	助手	鈴木 正男	49. 3. 31	退職

(講師以上)

教室	官職	氏名	発令年月日	異動内容
地物	助教授	小嶋 稔	49. 4. 1	教育職(一)1等級(東京大学教授理学部)に昇任させる

地 物 助 手	河 野 長	49. 4. 1	教育職(一) 2 等級(東京大学助教授理学部) に昇任させる
植 物 講 師	三 好 泰 博	49. 4. 1	教育職(一) 2 等級(東京大学助教授理学部) に昇任させる

外国人客員研究員

教 室	国 籍	氏 名	現 職	研究期間
数 学	米 国	Wolfgang Richard Wasow	ウィスコンシン大学教授	49. 5. 25~49. 8. 15

4 月 海 外 渡 航 者

教 室	官 職	氏 名	渡 航 先 国	渡航期間	渡 航 目 的
化 学	教 授	大木 道則	オ ラ ン ダ ドイツ連邦共和国 連 合 王 国	4. 23~5. 11	第2回 IUPAC 物理有機化学会議 出席および化学に関する研究連絡 のため
情報研	教 授	山田 尚勇	ア メ リ カ 合 衆 国	4. 26~5. 18	第2回日米コンピューター会議に 関する事前準備打合せ出席および 1974年度国内コンピューター会議 出席、並びに情報処理学に関する 研究連絡のため
物 理	助教授	一丸 節夫	ア メ リ カ 合 衆 国 ス ウ ェ ー デ ン	4. 10~6. 8	天体プラズマ理論の研修およびブ ラズマ理論の国際研究集会に参加 のため
地 理	助教授	小堀 巖	サウジアラビア	4. 25~5. 14	アシール地区の地域開発調査
物 理	講 師	小林 俊一	ア メ リ カ 合 衆 国	4. 20~5. 20	ミュー中間子スピン回転の実験
物 理	助 手	永嶺 謙忠	ア メ リ カ 合 衆 国	4. 10~7. 31	ミュー中間子スピン回転の実験
物 理	助 手	永山 国昭	イ ス ラ エ ル ス イ ス	4. 29~5. 18	ポリペプチドおよび蛋白質に関す る国際シンポジウム出席並びに生 物物理学に関する研究連絡のため

職員永年勤続者表彰

進入学者について

昭和 49 年度の東京大学職員永年勤続者として理学部
では金子久子(鉱物学教室)、加辺章夫(植物園)の二氏
が表彰された。

理学部および理系大学院への進入学のためのガイダ
ンスが 4 月 15 日(月)および 4 月 10 日(水)にそれ
ぞれ行なわれた。本年度の理学部進学者は 237 名、理系
大学院入学者は修士課程に 202 名、博士課程に 151 名で
ある。

理学博士学位授与者

昭和 49 年 4 月 1 日付授与者

専門課程 氏 名

論 文 題 目

学位規則第 3 条 2 項該当 佐 藤 矩 行

メダカの性分化に関する発生細胞学的研究
(Cyto-embryological Studies on the sex differentiation in the teleost.
Oryzias latipes)

同 鳥 海 光 弘

Petrological study of Sambagawa metamorphic rocks in the Kanto Mountains, Central Japan.
(関東山地の三波川変成岩の岩石学的研究)

昭和 49 年 4 月 8 日付授与者

植 物 学 広 瀬 忠 樹

Relations between turnover rate, resource utility, and structure in some plant populations, with special reference to nitrogen metabolism.
(植物個体群における回転率, 資源利用および構造の関係, とくに窒素代謝を中心に)

化 学 小野田 義 人

NMR Study of Pressure Effect on Electronic State of Some 3-d Transition Metals and Their Compounds.
(遷移金属およびその化合物の電子状態におよぼす圧力効果の核磁気共鳴による研究)

天 文 学 鍋 木 修

Thermodynamical Approach to Current-Interruption Model of Solar Flares.
(太陽フレアの電流阻止モデルに対する熱力学的アプローチ)

学位規則第 3 条 2 項該当 渡 部 暉 彦

Heat flow in the Western Pacific area.
(西太平洋地域の海洋底地殻熱流量)

同 Thomas Wayne

Mesozoic sea floor spreading in the North Pacific.

Clark Hilde

(北太平洋における中生代の海洋底拡大について)

=====

昭和 50 年度大学院理学系研究科

修士課程学生選考日程

松永助成金について

試験期日

第一次試験 (一般教育科目・外国語)

9 月 17 日 (火)

第二次試験 (専門科目の筆記および口述試験)

9 月 21 日 (土) ~ 28 日 (土)

合格者発表

第一次試験 9 月 21 日 (土)

第二次試験 10 月 8 日 (火)

出願期間

8 月 19 日 (月) ~ 31 日 (土)

対象者: 大学の助教授・講師・助手および大学院博士課程在学中の学生

金 額: 1 件当たり 50 万円

本学から自然科学部門 5 名以内, 社会科学部門 3 名以内を推せんする

理学部庶務掛締切: 6 月 10 日

伊藤科学研究助成金について

対象部門: 本年は生物学および物理学にかぎる

対 象 者: 大学の助教授・講師・助手および大学院博士課程在学中の学生

金 額: 1 件当たり 100 万円以内

理学部庶務掛締切: 6 月 10 日

理職と学部長の交渉

3月18日(月) 12時30分~2時15分

出席者: 学部長, 事務長ほか3名, および理職委員長ほか16名

議題: 1. 厚生施設について, 2. 退職勧奨について, 3. 予算増について, 4. その他(ストライキについて)

1. (イ) 各号館に休養室がほしいという要望にたいし, 事情が許せばそれぞれに作るのが望ましいが, 増築の機会に各号館で考慮するように要望したいとの答。

(ロ) 卓球場等の運動施設の充実も心がけたいが, 現在の建築規準はゆとりが少なく, きびしいものである点を理解してほしい。

2. 停年退職は勧奨であって強制であってはならず, その際不当労働行為があってはならない。当人が希望すれば勧奨の際立会人をおいてほしいとの要求が出された。これにたいし学部長, 事務長から, 停年退職に際しては本人のためになるよういろいろと配慮していること, 不当行為は今までもなかったし, するつもりもないこと, 人事に関することは大学の内規にしたがってやるが, その他に特別な規則やとりきめをつくることは慎重にしたい等の説明があった。

3. 物価高騰のため, 校費予算増について学部長が次の努力をするよう要望がのべられた。

- 1) 校費増のため予算組替えの努力をする
- 2) あるいは補正予算をくむ
- 3) 研究経費上昇の実態を調査し, 公表する
- 4) 労働強化, 合理化は行なわない

学部長は, 実情に応じてできるだけ実効ある措置をとってゆきたいと答えた

4. 理職はつぎの要求のもとにストライキ権を確立した。

- 1) 賃金の要求
- 2) 公務員のストライキ権の回復
- 3) 大学管理臨時措置法の撤回

学部長がこれらの要求の正当性, 少なくとも切実性を認め, 実現に努力すること, ストライキに際しては処罰をしないこと, を要求した。

学部長は, 賃上げの要求の切実性は認め, 総長にこれをつたえる。現時点では中央交渉が円満に妥結する

ことを望むのが第一であるが, もしストライキがあった場合は現行法規に則し, 情況に応じて必要な措置を行なう。組合員諸君には良識ある判断と行動を希望するとのべた。

4月15日(月) 12時30分~1時20分

学部側7名, 理職側13名が出席した。理職より, 官憲の捜査があるときは立会えるよう努力してほしい, 4月11日のストライキに関し処分しないようにとの申し入れがあった。学部長は, 申し入れの趣旨はわかったが, ここでそのような場合の措置につき約束はできない。従来東京大学がとってきた方針にもとづき, 自分の良識に従って行動すると答えた。

お知らせ

理学部職員学生懇親会の開催について

恒例の懇親ビア・パーティが, 来る5月16日(木)午後3時より小石川植物園で開かれます。〔雨天の場合は5月17日(金)〕多数の方々の参会を希望します。

また, この機会にゆっくり園内の新緑を觀賞して下さい。

編集後記

広報の号頭をかざる大橋先生の「植物シリーズ」は好評のうちに前号で打切らせていただきましたが, 今月号からは臨海実験所の重井先生にお願いして, 「動物シリーズ」を約一年間掲載させていただく予定です。

教養学部の小野健一先生からはレオナルド・ダ・ヴィンチについての興味ある文章をお寄せいただきました。理学部の先輩ということで, 特にお願したわけですが, これからもこのような企画を続けたいと思っております。

本号にはたまたま大学院在学中の方の寄稿が二つ載りました。若い方々からの執筆の自薦, 他薦を大いに歓迎致します。

編集:

〔小堀 巖 (地理) 理2号館205号室 内線 6449〕
〔清水 忠雄 (物理) 理1号館372号室 内線 2783〕